

また、引き続き宅建協会旭川支部も活用することで民有地の売買も支援する。

Q 植西委員

生活安全対策費の不用額があるが、補助的な街灯の設置等、防犯対策に活用できなかったのか。

また、防犯ハザードマップを作成する考えはないか。

A 総務企画課長

街灯の必要箇所には要望があれば設置しているが、住民が自発的に防犯対策への支援については今後検討したい。

また、防犯ハザードマップは作成することにリスクもあるので、その点を確認し、検討したい。

Q 安藤委員

通学路として利用されている北1線7号交差点には、横断歩道の設置が可能なのか。

A 総務企画課長

道路管理者や警察などの関係機関に対して、要望していきたい。

Q 佐藤委員

防災諸費で、今回の地震による停電時にも対応できるような庁舎用非常用電源の確保が必要かと思うがどうか。

A 村中町長

今回の停電では、上下水道用の発電機は確保されていたが、庁舎内は

小さな発電機での対応となった。予算の範囲で検討したい。

衛生費

Q 遠藤委員

予防費、健康マイレージ事業の対象者に対して応募者が少なく周知などが不足ではないか。

A 保健福祉課長

健康マイレージの応募者は減少しているが、対象者の申告であり、課題はないと考えている。マイレージが取得できる機会についての周知方法や改善点について検討したい。

農林業費

Q 植西委員

交流促進施設の指定管理にかかる費用が高額であり、管理者が営業努力をしているのかが伝わらない。詳細な決算書等を提出させて協議すべきではないか。



指定管理者が運営する「遊湯びっぶ」

A 産業振興課長

協定に基づき指定管理料のほかに大型修繕にかかる分として支出している。指定管理者の決算後には報告書も提出されており、協議もしている。管理者もさまざまな努力を行っているが、利用者総体が減少しているのので良佳村全体を含めて検討していきたい。

商工費

Q 山内委員

いちご狩り振興事業で、今年のように雨天によるいちご狩りへの影響が大きいので、対策が必要と思うがどうか。

A 産業振興課長

今年、雨の影響でいちご狩りについては多くの農園が早い閉園となった。現在も一定程度補助を行っているが農園側の負担もある。プロジェクトチームによる研究を進めており、新品種の試験栽培を行うなど、引き続き支援を行いたい。

土木費

Q 佐藤委員

昨年度は特に降雪が多く、道道についても、町で除雪を実施した経過があるが、特に五差路から駅までは路面状況が悪化するので、道の建設管理部と連携して必要に応じて町で

教育費

Q 植西委員

学校給食はカロリーベースで提供されているが、ミネラルベースでの試算はされているか。

また、給食の量が不足しているとの声はないか。

A 生涯学習課長

試算はしていない。不足という意見もない。学校栄養教諭に研究してもらい、来年度に向けて協議したい。

Q 遠藤委員

文化・スポーツ団体補助金は、過去に2割削減されたが、加盟団体を増やすためにも見直す考えはあるか。

A 生涯学習課長

各団体全体の活動費が増加するようであれば考えたい。

Q 安藤委員

郷土資料館の展示物が破損しているが管理はどうしているのか。

また、展示物に説明書きもないことから、説明できる人材の育成などが必要ではないか。

A 生涯学習課長

確認して修繕をしたい。また、説明書きについても検討していきたい。

Q 植西委員

教育費全体の不用額を計画的な施

設の維持管理の費用に充てることができたのではないか。

A 生涯学習課長

各施設の修繕は随時行っているが、計画的には行っていない。今後、各施設の修繕計画を策定する考えである。

▼簡易水道事業特別会計

Q 植西委員

水源である石狩川の汲み上げポンプが故障した場合は、何日程度給水が可能か。

A 建設課長

また、貯水槽的なものはあるのか。貯水槽はあるが、何日も供給することはできない。

Q 山内委員

水道料金が未払いの場合に給水停止の例はあるのか。

A 建設課長

給水停止予告の段階で支払われていない状況であり、最近給水停止の実績はない。

▼財産に関する調書

Q 山内委員

庁舎等整備基金について、庁舎改築の考え方はどうか。

A 村中町長

も除排雪をすることは可能なのか。

A 建設課長

引き続き、道へは強く要望を行っていく。必要時には町でも対応するが、駅前の排雪を行うとなると夜間となるので、通常の除雪に影響が出ない方法も検討したい。

Q 植西議員

駅前通りの道路に自宅の雪を出す人もいるので啓蒙活動を行ってはどうか。

A 建設課長

道路交通法の違反ともなるので、指導等はさせていただいている。

消防費

Q 佐藤委員

通常時の消防・救急出動に加え、近年は、高速・高規格道路の事故やドクターヘリの対応出動などが増えており、今後の職員募集も含めて、現在の15人体制で十分なのか。

A 消防署長

夜間・休日は4人体制となることから、場合によっては職員を招集し、対応しているが、最近高速道路やドクターヘリの事案も多くなっている。

A 村中町長

現在の15人体制は多いとは思っていない。職員の構成を考慮しながら採用については努力したい。

2019年度のまちづくり、予算づくりの抱負について伺いたい。

A 村中町長

移住者がゼロなら大幅に人口が減少することとなるので、町と民間の事業を併せて分析できればと考えている。

また、中学校校舎改築については、小中一貫教育型学校としてハードが整い、地域住民も一体となった学校運営が進められればと考えており、中央小学校も含め、公共施設の維持管理については、計画を作る予定である。

町民の方々に「比布町に住んで良かった」と思われるまちづくりを進めていきたいと考えており、第12次まちづくり計画にもご意見をいただければと思う。

A 谷教育長

『まちづくりは、人づくり』であり、『人づくり』には教育が必要。年齢にかかわらず、すべての町民が教育に関わる体制づくりが重要であり、その関わりを大きくするのが小中一貫型学校やコミュニティ・スクールだと思うので、新教育長となる北川さんに継続していただきたい。

